

6

一人一人が大切にされる教育を目指して

県教委は、これまでの取組の成果を継承するとともに、「基本方針」に則った人権教育がより一層具体的に推進されるよう、「推進プラン」の改定を行いました。その中では、教職員・保育者や社会教育関係者、教育委員会や学校、さらには関係団体が進めるべき具体的な取組を示すことを目指してきました。そうして示された取組は、一人一人が大切にされる日常を創出するにとどまらず、人類の存続にもつながる大切なものです。

2015年9月、国連は「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択しました。そこでは、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）として17のゴール・169のターゲットが示されるとともに、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことが誓われています。

この目標が決定される過程においては、世界各国の政府はもとより、世界中で子どもや若者も参加して、多くの人々や組織が協力しました。

今、私たちの世界は数々の問題に直面しています。それらの解決なくして、人類の繁栄はおろか、存続もあり得ません。今、自分の身近にいる人だけでなく、未来の人々もこの地球で自分らしく幸せに生きることができるよう、一人一人が考え、行動することが求められています。

まずは、教職員・保育者や社会教育関係者一人一人が、未来を築く人々を育てる責任を自覚し、本「推進プラン」に沿って考え、行動することはもとより、多くの人々や組織が対話を深め、協力・連帯し、連携・協働した一歩を踏み出すことを共に確認しておきたいものです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

